

①牧師たちや教会員たちの間で生じているidentity(独自性)の消失

②多くの教会員の間に見られる世俗的風潮の広がり

③不一致の危険

④教会の使命に不参加をもたらしている霊的な自己満足や無感動

(SDA世界総会総理Ted Wilson、State of the Church／一般教書演説2013年11月14日)

私たちは一丸となって、キリストの義、キリストの愛、完全な悔い改めとキリストへの献身、三天使のメッセージ、そして間もなく来るキリストの再臨を分かち合う全員参加伝道に加わり、主の招きに答えようではありませんか。そして、愛をもって神様の御言葉を分かち合い、神様の恵みと御力により、日々その御言葉と愛の良き模範となり、キリストのような人生を送りたいと思います。主イエスよ、来たりませ！(2016年7月11日)

SDA キリスト教会の墮落を嘆く声々

1. 証の書を軽視、勧告や警告を無視する。
2. 再臨前の品性完全論を否定する。
3. 日曜教会の礼拝形態や教理を取り入れる。
4. 聖所、罪の除去、裁き…など、SDAの基本教理を教えなくなった。
5. 三天使のメッセージを知らない信者が増えている。
6. 黙示録やダニエル書…など、預言に無関心。
7. 神の愛と義のバランスが崩れ、愛だけを強調…等々。

identity(独自性)の消失

今は大いなる贖罪の日

われわれは、今、大いなる贖罪の日に生存している。型としての儀式においては、大祭司がイスラエルのために贖罪をなしている間、すべての者は、主の前に罪を悔い改め、心を低くすることによって、身を悩まさなければならなかった。もしそうしなければ、彼らは、民の中から絶たれるのであった。それと同様に、自分たちの名がいのちの書にとどめられることを願うものはみな、今、残り少ない恩恵期間のうちに、罪を悲しみ、真に悔い改めて、神の前に身を悩まさなければならない。われわれは、心を深く忠実に探らなければならない。多くの自称キリスト者がいだいている軽薄な精神は、捨て去らねばならない。われわれを打ち負かそうとする悪癖に勝利しようとする者は、みな、はげしく戦わなければならない。準備は、1人1人がしなければならない。われわれは、団体として救われるのではない。1人の者の純潔と献身は、これらの資格を欠く他の人の埋め合わせにはならない。すべての国民が神の前で審判を受けるのであるが、しかし神は、あたかもこの地上にその人1人しかいないかのように、厳密に1人1人を審査されるのである。すべての者が調べられねばならない。そして、しみもしわもそのたぐいのもものがいっさいあってはならないのである。